

2021 年 ブルーベリー病害虫防除暦

JA中野市営農センター

* スモモヒメシンクイの発生園は、4月下旬にナシヒメコン(10a 当り100本)を設置する。尚、グランドプライズ以降の品種では7月上旬に再度設置する。

	散布時期	散布薬剤(水 100ℓ当り)		収穫前 使用時期	使用回数 (以内)	散布量 ℓ/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
月 日	3月下旬 発芽前	① 展着剤 石灰硫黄合剤	(水90ℓ) 10mℓ 10ℓ	発芽前	—	300	(ふくろみ病) (胴枯病) カイガラムシ類	①石灰硫黄合剤に代えてトレノックスフロアブル 500 倍(収穫14日前、3回)でもよい。 また、トレノックスフロアブル 500 倍を使用する場合、 展着剤は、アビオンーE1000 倍を使用する。 ②石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールに飛散し ないようにする。
月 日	落花直後	② 展着剤 フルーツセイバー サムコルフロアブル 10	10mℓ 66mℓ 40mℓ	前日 3日前	3回 3回	400	灰星病 ケムシ類 シンクイムシ類	①スモモヒメシンクイの越冬世代成虫が多い時期のため、 散布の際は散布死角が生じないように注意する。
月 日	5月中下旬 (前回より14日後)	③ 展着剤 アプロードフロアブル アーデントフロアブル アグレプト水和剤	10mℓ 100mℓ 50mℓ 100g	14日前 前日 30日前	2回 3回 2回	400	黒斑病 かいよう病 ハダニ類 シンクイムシ類 カイガラムシ類幼虫	①アグレプト水和剤、アグリマイシン-100 はぶどうに かかると種なし果を生じるので隣接園は注意する。 ②黒斑病 発生園は、再度、5月下旬にアグレプト水 和剤 1000 倍(30日前、2回)を特別散布する。
月 日	6月上旬 (前回より14日後)	④ 展着剤 モスピラン顆粒水溶剤 ベルコートフロアブル	10mℓ 50g 50mℓ	前日 3日前	3回 3回	500	灰星病 アブラムシ類 シンクイムシ類 (ハマキムシ類)	①摘果果実は、腐敗病の伝染源になりやすいので土 中深く埋めるか、園外へ除去する。
月 日	6月中下旬 (前回より14日後)	⑤ 展着剤 フリントフロアブル25 ダーズバン DF バリアード顆粒水和剤	10mℓ 50mℓ 33g 50g	前日 14日前 前日	2回 2回 2回	500	灰星病 炭そ病 アブラムシ類 シンクイムシ類 ウメシロカイガラムシ	
月 日	7月上旬 (前回より14日後)	⑥ 展着剤 バイスロイド EW パレード 15 フロアブル	10mℓ 33mℓ 50mℓ	14日前 前日	2回 2回	500	灰星病 (炭そ病) アブラムシ類 (カメムシ類) (シンクイムシ類)	①ハダニ類 発生園は、ダニゲッターフロアブルの 2000 倍(前日、1 回)を加用する。 ②【代替】パレード 15 フロアブルに代えて、フルーツセ イバーの 1500 倍(前日、3 回)でもよい。
月 日	7月中旬 (前回より10日後)	⑦ 展着剤 ベルコートフロアブル エクシレルSE	10mℓ 50mℓ 40mℓ	3日前 前日	3回 2回	500	灰星病 (すす点病) シンクイムシ類 ケムシ類	①収穫前日数に注意し、収穫予定の3日前には散布 する。
月 日	7月下旬 (前回より10日後)	⑧ オンリーワンフロアブル イカズチ WDG	50mℓ 66g	前日 前日	3回 2回	500	灰星病 シンクイムシ類 (ケムシ類)	①今回以降、果粉(ブルーム)溶脱防止及び果実汚染 防止のため展着剤は使用しない。
月 日	8月上旬 (前回より10日後)	⑨ フリントフロアブル 25 バリアード顆粒水和剤	50mℓ 50g	前日 前日	2回 2回	500	灰星病(すす点病) (シンクイムシ類) アブラムシ類	①ハダニ類 発生園は、カネマイトフロアブルの 1,000 倍(3日前、1 回)を加用する。
月 日	8月中旬 (前回より10日後)	⑩ パレード 15 フロアブル アーデントフロアブル	50mℓ 50mℓ	前日 前日	2回 3回	500	灰星病 ハダニ類 シンクイムシ類	①シンクイムシ類 発生園は、ヨーバルフロアブルの 5000 倍(前日、2回)を加用する。
月 日	8月下旬 (前回より10日後)	⑪ オンリーワンフロアブル エクシレルSE	50mℓ 40mℓ	前日 前日	3回 2回	500	灰星病 シンクイムシ類 ケムシ類	①晩生種で、灰星病、シンクイムシ類の発生園は、 9月上旬にオーシャインフロアブル 3000 倍(前日、3 回)とモスピラン顆粒水溶剤 2,000 倍(前日、3回)を 散布する。
月 日	収穫後 2～3回 の防除	⑫・⑬ (展着剤) ICボルドー412	3.3kg	—	—	400	黒斑病 かいよう病	①ボルドー液は他作物に飛散しないようにする。 ②展着剤は、アビオンーE1000 倍を使用する。 【落葉後～萌芽前までの防除】 ①コスカシバ対策で、トラサイド A 乳剤の200倍(収穫 後～発芽前、2回)を樹幹部及び主枝に散布する。
月 日	【特別散布】 落葉後 (11月下旬)	スプレーオイル 石灰硫黄合剤	2ℓ 10ℓ	発芽前 発芽前	— —	300	(ふくろみ病) カイガラムシ類	①落葉前に散布すると薬害の発生に繋がるため落葉 後に散布する。 ②発芽前の防除が積雪の影響で困難な園地は散布 死角ができないように散布する。(単用散布)

◆混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル(DF)⇒顆粒水和剤(WDG)⇒水和剤

* 当防除暦の複製・コピーを禁止します。